

contents

視点を変える。価値が変わる	02
Blogから振り返る1年	03
巣舞るメッセージ・住宅見学会2019	16
竣工のご紹介 ー各種建築ー	17
リフォーム部 リフォーミー	18
不動産部 (株)フォレス・タカダ	19
リフォーム研究所 リフォームあれこれ	20
築縁様の声	21

「視点を変える。価値が変わる」

今年は今和時代がスタートするなどたくさんの出来事がありました。中でもラグビーワールドカップは日本中が沸きました。ラグビーはそれまで見たことがなく、私はルールすらも分かりませんでした。ラグビーをテーマにしたドラマが面白く、それがワールドカップを見るきっかけになりました。きっとこのような方が私の他にもたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。

じっさい試合は手に汗握る白熱した大会が続き高視聴率が続きました。もしドラマを見ていなかったら自分はラグビーを見ていなかったような気がします。

自分が知らないだけで、試してみると夢中になり、心を豊かにしてくれるものがまだまだ世の中にはたくさんあるのだと教えてもらった気持ちです。

さて弊社は今年のはじめに完成見学会が800回目を迎えることとなりました。皆様のご支援のもと、このように続けてこられたことに感謝申し上げます。

そして節目のプロジェクトとして「幸せのクローバーものがたり」が始まりました。(P7参照)これは廃材を利用して鉢をつくりクローバーを育てるプロジェクトです。

普段は捨てられるものに一工夫すると新しいものに生まれ変わります。

小学生が廃材をつかって楽しそうに工作している姿からもとてもパワーをもらいましたし(P9参照)、海岸に落ちている流木も好きな人にとっては様々なイメージを湧き立てたまらないものでしょう。このように一見価値はないけれども、ある人から見たらとても価値があるものになるかもしれません。また、時代とともに変わる価値観もあります。昔はまぐろの脂身は廃棄されていたそうですが、今では高級食材としてあつかわれています。

欧州では歴史を重ね風格を備えた街並みが多く、リノベーションで新しい素材を重ねることで古いだけでなく、新しいだけでもない価値を生み出すと学生時代に習ったことを思い出します。

培ってきた技術を時代に合わせることで生まれるイノベーションのようにも見えます。

不易流行ともいわれますが、変わらないエッセンスが変わる時代にどのようにマッチしていくかはいつの時代も大切なテーマです。

弊社の43年の歩みの中で「巣舞」から始まったスローガンは「千人鮮色」へと成長してまいりました。このことは建築主様の個性(あなたらしさ)を大切にしたいという経営理念の一貫した追求でもあります。

今後も千人鮮色を実践し、一人でも多くの方に「感動」と「楽しい」をご提案していきたいと思えます。どうぞよろしく願い申し上げます。

(株)高田建築事務所
代表取締役社長
高田清之介



新潟県建築士事務所協会主催 第27回「建築作品・新潟県賞」にて優秀賞(住宅部門)受賞

Blog 1 景観になる

第27回「建築作品・新潟県賞」優秀賞(住宅部門)を受賞したS様邸のコンセプトは「**境界のある風景**」

立地は県道と立体バイパスの交差する場所で、交通量も多くなっています。しかし敷地の裏側は緑溢れる遊歩道があります。そこで2階リビングの内部空間は県道から閉ざし、遊歩道に向けて開き、外の喧騒から切り離れた居心地の良い空間になっています。

一方、建物は個人の所有であるとともに、そこに建つことで町の風景になっていきます。個人のお住まいも第三者の景観のひとつのピースになります。まち行く人からの見え方も大事な要素。

県道からは1階のガレージ越しに遊歩道が見えることで、視線を閉ざすのではなく、ガレージが奥行きのあるフレームとなり、境界をつくります。

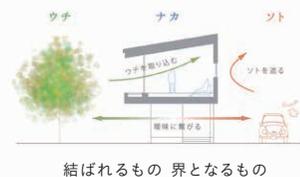
今回の受賞が「環境創造企業でありたい」という弊社の理念に沿ったもので、かつ評価されたことを励みとしていきたいと思えます。

ご協力いただいた築縁様、本当にありがとうございました。

1	2
3	5

- 1 正面夜景
- 2 2階LDK
- 3 リビングから緑を臨む
- 4 階段
- 5 遊歩道から見た外観

201901



Blog 2 2019長岡築縁会
2月2日(土)・3日(日)の2日間

平日頃は大変お世話になっております。

本日はお忙しい中、築縁会にご参加いただきありがとうございます。おかげさまで、今年、20回という節目を迎えさせていただくことができました。

築縁様、業者様のおかげで、このように続けてこられたことに感謝申し上げます。

この会でお会いすることで、生活してからの相談をしやすい環境や、安心感を少しでもお届けできたら幸いです。また、お住まいは完成したら終わりではなく、そこから時間の経過とともに成長していきます。その経過に触れさせていただくことで、私たちもとても勉強になることが多々あります。

本日は貴重なお時間をいただいたことに改めて感謝申し上げますとともに、皆様の上に益々のご多幸をご祈念申し上げます。



2019年
第20回 参加数
築縁様 71家族
長岡木族の会 39社
タカダスタッフ 26名

201902



出発式のかけ声



タカダのサラメシ

お昼休みになると、当社もランチタイムの始まりです。デスクや休憩室、打ち合わせ室もスタッフのランチスペースになり、各々好きな場所でお昼ごはんを食べています。

☆ある日のランチ☆「レトルトご飯を楽しむ会」

毎日のお弁当づくりもたまにはお休みして、各々好きなレトルトとごはんを持参してみんなで食べる簡単ごはん。ただそれだけのことがみんなでやると楽しさも美味しさも倍増するのです。ランチタイムは他部署のスタッフが集まっているいろんな会話ができる貴重な時間。同じ年代の女性が集まることもあって、仕事や家事、育児などの真剣トークからTVドラマ等芸能ネタまで、会話がつきません。1時間があっという間に過ぎていきます。

時間の制約が大きい働く女性にとって、この「ランチケーション」は、まさに職場にいながらにしてママ会、女子会をしている気分になれるのです。仕事の合間の貴重な休憩時間をフルに満喫して、午後の業務もがんばります！

1	2
3	4
5	6

- 1 レトルトご飯
- 2 女子ママ会
- 3 簡単ごはん
- 4 男子会
- 5 手作りお弁当
- 6 どんぶり系もOK

201903



元気の源ランチ会



平成最後の頂点は誰の手に!!!?

4月恒例の熱いイベント!「社内コンペ」が今年も行われました! 会場は、ゆきん子ペンギン教会です。神聖なこの教会が戦いの舞台となります。2018年度に竣工した個性ある巣舞の中で、これは!という物件を、コンセプト部門もしくはセクション部門にエントリー。総勢70名越えのスタッフ全員が審査員です。

コンセプト部門は主に新築物件で、巣舞のコンセプトや工夫した点などを写真と図面を使って5分間のプレゼンを行います。コンセプト部門のトップバッターは私。お施主様の趣味であるアウトドアができるスペースを設けて、非日常を日常の暮らしの中に取り入れた住宅を発表しました。予定の半分を話したところで・・・「チーン」残り30秒の合図が鳴り響き、頭の中は真っ白。とても素敵な物件だっただけに、巣舞の良さが伝えきれず悔しかったです。。来年こそはプレゼン力を磨き、最優秀賞を取りたいと思います! 今年最優秀賞は2世帯住宅「アーキテクト ラボ」敷地条件・素材・空間の研究を行ったこの巣舞。トンネルガレージやLDKと寝室を一体化した巨大なワンルーム空間は、お施主様との研究から生まれた大発見です。

1	2	3
4	5	

- 1 コンペ発表風景
- 2 ゆきん子ペンギン教会
- 3 聖壇
- 4 最優秀作品 外観
- 5 // 内観

201904



受賞スタッフの笑顔